

審査報告書

昭和三十二年度物品増減及び現在
額総計算書(継続事件)
右の件については、審査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

決算委員長 西川甚五郎

参議院副議長平井太郎殿

経過の概要

本件は、昭和三十二年度決算と並
行して審査を行つて来たが、終了す
るに至らなかつた。

○調査報告書

地方行政の改革に関する調査(継
続事件)
右の件については、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要

本委員会は、第三十一回国会から
同国会閉会後、わたり、地方行政の
改革を行つた一環として、主
に左記事項に関し、政府の説
明並びに関係資料の提出を求める等
鋭意調査を行つたが、その対象が広
範多岐にわたつたため調査を終
了するに至らなかつた。

記

一、昭和三十四年度地方財政計画に
関する件

二、公営電気事業の運営に関する件

三、町村合併に伴う都道府県議会議
員の選挙区の画定に関する件

四、公営電気事業の運営に関する件

五、地方債許可方針及び同配分に關
する件六、今次参議院議員通常選挙及び地
方統一選挙について公職選挙法の
実施状況に関する件

市町村建設及び地方公務員給与に關
する件、第三十一回国会開会中、新
昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

国際情勢等に関する調査(継続事
件)
右の件については、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

教育、文化及び学術に関する調査
(継続事件)
右の件については、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

社会安全保障制度に関する調査(継
続事件)
右の件については、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

する小委員会を設置して、関係の問
題について調査を行つた。

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、第三十一回国
会開会中、日米安全保障条約の改
定、日中貿易、日韓関係、ソ漁業交
渉、カナダ在留邦人の財産問題及び
ブラジルとの間の移民協定等の当面
する国際情勢等に関する諸問題につ
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

法務委員長 古池 信三

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、本件調査に
ついて第三十一回国会閉会中、静岡
県下における全労働組合問題、被
害者問題等の執行に通ずる諸問題、
逮捕状等の執行に通ずる諸問題、高
東京都荒川における通り魔事件、高
知県下における集団暴行事件、統一
地方選挙における選挙事犯取締関係
問題等主として警察、検察行政、
人権侵害事件に関する重要な問題につ
いて必要により実地視察、委員派遣
を行ふなど慎重なる調査を行つた。
更に少年犯罪対策に關しては特に岸
内閣総理大臣の見解を聴取した外、
登記の一元化問題、東京婦人補導院
の敷地問題及び昭和三十四年度法務
省関係予算、同裁判所関係予算等法
務並びに司法行政の各般にわたつて
調査を行つた。ついで閉会後におい
ては、壳春防止法完全施行一周年間
における少年傷害事件及び参議院通常
選挙における同事犯取締関係諸問題
等多方面にわたつて所要の検討を加
え、対策を講ずる等慎重なる調査を加
へられたが、これらの調査は広範
多岐にわたつた。

昭和三十四年六月二十日

大蔵委員長 加藤 正人

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、第三十一回
国会昭和三十三年十二月十二日議長
の承認を得、法律案の審議と並行し
て租税及び金融等に關し、種々の角
度から検討を加えてきたが、昭和三
十四年五月二日継続調査の議決を得
て閉会中も調査することとなつた。
閉会中、二回にわたり委員打合會を開
くべく、各種調査資料の収集等を行
つたのであるが、何分にもその対
象が広範多岐にわたつておりかつ今
閉会中は議員の改選もあり、調査期
間も短かく、調査を終了するに至ら
なかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、第三十一回国
会及び閉会中ににおいても継続調
査を行つた。よつて経過の概要を添
えて、報告する。

昭和三十四年六月二十日

社会労働委員 木下 友敬

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、第三十一回国
会及び閉会中ににおいても継続調
査を行つた。よつて経過の概要を添
えて、報告する。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
本委員会においては、第三十一回国
会及び閉会中ににおいても継続調
査を行つた。よつて経過の概要を添
えて、報告する。

昭和三十四年六月二十日

農林水産政策に関する調査(継
続事件)
右の件については、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

農林水産委員長 秋山俊一郎

調査報告書

経過の概要
本調査に關して、当委員会は第三
十回国会において、農林水産物の
流通対策、水質汚濁防止対策、甘味
資源対策ならびに国際及び沿岸漁業
対策その他について参考資料を收集
し、政府当局その他から説明または
意見をきくなど調査を行つた。
しながら本調査はその対象が広範多
岐にわたるため結了するに至らなか
つた。閉会中においても、国際漁業問
題、農作物の雹害対策及び農林水産
物の流通対策などについて調査に當

昭和三十四年六月二十日 助治

文教委員長 相馬 助治

参議院副議長平井太郎殿

経過の概要

本委員会は、第三十一回国会閉会
中において教職員の勤務評定に関する
件、オリエンピック招致に関する件等につ
いて、文部省及び関係当局に対して説
明を求め、質疑を行つた。

昭和三十四年六月二十日

社会労働委員 木下 友敬

経過の概要

第三十一回国会及び閉会中におい
ては、本調査の一環として、昭和三
十四年度厚生省関係予算に關する件
及び港湾検疫行政移管に關する件、
生活保護法の最低基準引き上げに關
する件、世帯更生資金の貸付制度に
關する件、母子家庭への住宅貸付に
關する件等について政府当局から説
明を聽取し、質疑を行つた。

昭和三十四年六月二十日

長代理理事 木下 友敬

経過の概要

第三十一回国会及び閉会中におい
ては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
件、日本専売公社の労働紛争問題に
関する件、新潟県下における全日日本
国立医療労働組合の問題に關する全
件、国際労働条約批准等に關する
件、公共企業体等職員の紛争に關する
件、駐留軍労務者離職対策に關する
件等について政府当局から説明を
聽取し、質疑を行つたが、特に
国際労働条約批准等に關する件につ
いては、更に詳細なる調査を行つ
たため小委員会を設置し審査を行つ
た。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
本調査に關して、当委員会は第三
十回国会において、農林水産物の
流通対策、水質汚濁防止対策、甘味
資源対策ならびに国際及び沿岸漁業
対策その他について参考資料を收集
し、政府当局その他から説明または
意見をきくなど調査を行つた。
しながら本調査はその対象が広範多
岐にわたるため結了するに至らなか
つた。閉会中においても、国際漁業問
題、農作物の雹害対策及び農林水産
物の流通対策などについて調査に當

昭和三十四年六月二十日

社会労働委員 木下 友敬

調査報告書

右の件について、調査を終らなか
つた。よつて経過の概要を添えて、
報告する。

昭和三十四年六月二十日

社会労働委員 木下 友敬

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中におい
ては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

経過の概要
第三十一回国会及び閉会中に
おいては、本調査の一環として、昭和三
十四年度勞働省関係予算に關する件
等銳意調査に努めたが、問題が広範
多岐にわたるため、未だ結論に到達
することができなかつた。

昭和三十四年六月二十日

参議院副議長平井太郎殿

調査報告書

明治二十九年三月三十日第三種郵便物認可

定価
一部十五円
(銀良實紙廿五円)
(原稿料一円)

発行所
大蔵省印刷局
電話九段四番一丁
郵便官報課